

# Istanbul Weekly vol.7-no.1

## イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年1月12日（金）

### — 今週のポイント —

- 政治：**内務省、ハジネダル・ベシクタシュ区長に対し停職処分を下す。  
エルドアン大統領、マクロン仏大統領と会談を実施。
- 経済：**世界銀行、トルコの経済成長率予想を6.7%に引上げ。  
トルコは小麦粉製品輸出で世界第一位。  
「カナル・イスタンブール」の全容が明らかに。
- 治安：**2017年中、治安当局がイスタンブールでISIL関連容疑者1,337名を拘束。  
2017年中、治安当局がFETO関連容疑者4万8,305名を逮捕。  
警察がイスタンブール等でISIL容疑者26名を拘束。
- 軍事：**国防省が本年中に軍事職員9,753名の新規採用を計画。
- 社会：**水不足深刻化。

### 政治

#### 【内政】

#### ●米国でアッティラ・ハルク銀行元副頭取に対し有罪判決

アッティラ・ハルク銀行元副頭取に対し、米国の対イラン制裁違反を始めとする6つの容疑により、昨年11月28日に開始された裁判で、3日、米ニューヨーク州連邦地裁は、同元副頭取に対する5つの容疑について、有罪判決を下した。5日、エルドアン大統領は、同判決に対し、米国は陰謀の中にあると批判した。同判決の量刑は4月11月に発表される予定。(1月5日付H紙17面及び1月6日付M紙14面)

#### ●内務省、ハジネダル・ベシクタシュ区長に対し停職処分を下す

4日、内務省は、ハジネダル・ベシクタシュ区長に対し、憲法第127条に基づき、汚職やFETOの構成員であるとの容疑に関する捜査を理由に、停職処分を下した。一方で、同日、ハジネダル・ベシクタシュ区長は、FETOとの関係を強く否定し、自らの潔白を主張した。その後、11日には、ベシクタシュ区議会で区長代行の選出選挙が実施され、CHP所属のタヒル・ドアチ氏が選出された。(1月5日付H紙18面)

#### ●エルドアン大統領、聖ステファン教会の開所式典で演説を実施

7日、エルドアン大統領は、イスタンブール市の金角湾沿いに位置する「聖ステファン教会(ブルガリア正教会)」の開所式典に出席した。ボリスフ・ブルガリア首相も参加した同式典でエルドアン大統領は、政府はこれまで国内14箇所のシナゴグや教会の修復を実施した旨述べ、信仰や出自に関係なく、全ての人の自由な信仰実践を保障することは国の責任であると述べた。(1月8日付M紙13面)



(写真は、1月7日付M紙インターネット版より)

#### ●エルドアン大統領、ボアジチ大学を批判「国際的なブランド化を到達できなかった」

7日、エルドアン大統領は、ボアジチ大学協会の第14回通常総会に出席した。同総会で、エルドアン大統領は、ボアジチ大学は、国民の価値観に沿うことができず、国際的なブランド化を到達できなかったと批判した。10日、アクシェネル優良党党首は、エルドアン大統領の批判は、エルドアン大統領と対立したために首相職を辞任したとされる同大学出身のダウトオール議員に向けられていると指摘した。(1月8日付H紙20面)

#### ●バフチェリ MHP 党首、2019 年大統領選における AKP との連合を発表

8日、バフチェリ MHP 党首は、2019年に実施される大統領選で、MHPとしては独自候補を擁立せず、エルドアン大統領を支援する旨述べた。10日、エルドアン大統領は、バフチェリ MHP 党首と、大統領選で協力することについて協議を行い、バフチェリ MHP 党首の支援に感謝する旨述べた。(1月9日付H紙12面及び1月11日付H紙17面)



(写真は、1月11日付H紙インターネット版より)

### ●ユルドウルム首相、FETOを非難

(1)10日、ユルドウルム首相は、司法評議会で、国内の司法に関連した情報を管理する「国際司法ネットワーク情報システム」がFETOに漏洩していたことを受け、FETOは同システムを利用し、残虐な行為を実行したと非難した。

(2)ユルドウルム首相は、FETO捜査の一環で、「モル・ベイン」(当館注:トルコ科学技術研究機構の元職員が開発した、音楽アプリなどを通じて利用者をFETOのSNSアプリ「パイロック」に導くソフトウェア)により、端末データが自動的にパイロックに記録されたことで、1万1,000人以上が不当に逮捕されていたことに言及しつつ、罪の無い人々は、償われる必要がある旨述べた。(1月11日付H紙17面)

### 【外交】

#### ●エルドアン大統領、マクロン仏大統領と会談を実施

5日、エルドアン大統領は、仏でマクロン大統領と会談した。会談では、防衛、航空及び財政分野における3件の協定が署名された。エルドアン大統領は、会談後の記者会見で、仏との間でパレスチナ問題に関する協議を緊密に行っていく旨述べた。その一方で、暗礁に乗り上げているEU加盟問題については、「EUは常にトルコを待たせている」と批判しつつ、トルコとしては、早急なEU加盟を求めている旨述べた。(1月6日付M紙14面)



(写真は、1月6日付M紙インターネット版より)

#### ●チャヴシュオール外相、ガブリエル独外相と会談

6日、チャヴシュオール外相は、独でガブリエル外相と会談した。会談で、チャヴシュオール外相は、トルコとEUは、トルコのEU加盟プロセスについて合意に至らなければならないわけではないと述べる一方で、関税同盟のアップデートの交渉再開は必要であると指摘した。また、トルコと独は、ISILとの闘いにおいて緊密な協力関係にあり、両国の見解は完全に一致していると連帯を強調した。(1月7日付M紙20面)



(写真は、1月6日付M紙インターネット版より)

### ●エルドアン大統領、キタロビッチ・クロアチア大統領の訪問を受ける

9日、エルドアン大統領は、アンカラでキタロビッチ・クロアチア大統領の訪問を受けた。エルドアン大統領は、共同記者会見で、バルカン半島の平和と安定にはクロアチアとの協力が重要である旨述べた。また、2月にトルコ・ボスニア・ヘルツェゴビナ・クロアチア三国間協議メカニズムの第一回首脳会合を実施することを明らかにした。(1月10日付M紙18面)



(写真は、1月10日付M紙インターネット版より)

## 経済

### 【マクロ経済】

#### ●トルコ中央銀行の金外貨準備高、過去最高値に

トルコ中央銀行の金準備高は過去最高値の564.8トン記録した。これは、数十億に上る米ドル建ての外貨準備を金に置き換える政策によるもの。2017年末の時点で、外貨と金を合わせた総準備高は1,077億ドル相当となり、前年と比べ16億米ドル増加した。(1月4日付HDN紙インターネット版)

#### ●2017年、298件のM&A

8日、デロイト・トルコのM&Aレポートによれば、2017年、トルコにおいては298件のM&Aが行われ、その主な産業分野は、エネルギー、製造業、テクノロジーだった。取引額は103億米ドル相当で、対前年比41%増となった。大規模な買収事業としては、オーストリアのエネルギー企業OMV社からオランダのVitolグループへ買収されたペトロール・オフィシ、ギャランティ銀行株式の過半数を取得したスペインの銀行BBVA、IMFインベスターズによるメルスィン港湾の買収がある。(1月9日付HDN紙10面)

#### ●2017年、M&Aへの外国直接投資は上昇

5日、トルラク・トルコ競争庁長官は、2017年の外国投資は、合併、買収、合併分野において上昇傾向にあったと発言。2017年第3四半期のトルコ企業との合併・吸収申請数が11.1%増加しており、外国からトルコ経済への関心は2018年も継続するだろうと述べた。特に投資の多い分野は、卸売り・小売り貿易、給油システム、保管・ロジスティクスで、国別ではオランダ、ルクセンブルク、日本、米国、ドイツ、オーストリア、UAE、フランス、ベルギー、英国、フィリピンが上位を占めた。(1月8日付HDN紙10面)

#### ●2017年11月の工業生産、対前年比7%増

8日のトルコ統計庁(TUIK)の発表によれば、2017年11月のトルコの工業生産(カレンダー調整値)は対前年同月比7%増加。製造業が7.1%、電気・ガス等供給が6.7%、鉱業・採石業は5.9%。また、HIS Markitとイスタンブール工業会議所(ISO)が共同で発表するトルコの製造業の購買担当者指数(PMI)は、11月に52.9を記録した。(1月9日付HDN紙10面)

#### ●世界銀行、トルコの経済成長率予想を6.7%に引上げ

9日、世界銀行は「世界経済見通し」レポートを発表し、トルコの2017年の経済成長率予想を4%から6.7%に引き上げた。理由については、財政政策及び金融政策が予想よりも力強い経済の回復に結びついたためとしている。一方で、2018年の成

長率は 3.5%程度に落ち着くとした。(1月11日付 HDN 紙 1 面及び 11 面)

### 【自動車産業】

#### ●2017年の国内自動車販売数、2.8%減少の956,194台

5日、自動車製造協会(ODD)は、2017年の自動車販売数は前年に比べ 2.8%減少し 956,194 台だったと発表した。そのうち、乗用車は同 4.52%減の 722,759 台、軽トラックは同 3%減の 233,435 台。(1月5日付 HDN 紙インターネット版)

#### ●2017年の自動車輸出、19.5%増の285億米ドル

7日、ウルダー自動車産業輸出業者協会は、2017年のトルコの自動車輸出は対前年比 19.5%増の 285.3 億米ドルに達したと発表。昨年のトルコの全輸出に占める自動車の割合は 18%。最大の輸出先のドイツに対しては同 10%増の 43.6 億米ドルで、イタリアの 31.4 億米ドル、フランスの 29.1 億米ドルが続いた。トルコの総自動車輸出の 77%は EU 諸国向けで、同 17%増の 220 億米ドルだった。(1月9日付 HDN 紙 10 面)

### 【エネルギー関連】

#### ●イラン騒乱により原油価格上昇

4日、原油価格が 1 バレル 68 米ドルにまで上昇し、2015 年 5 月以来の最高値を記録した。イラン騒乱による原油供給への不安、米国における寒気による暖房需要及び OPEC 主導の減産が背景とされる。OPEC の第三位産油国であるイランの 6 日間に渡る反政府抗議運動は原油価格に地政学的リスクプレミアムを付与したものの、生産及び輸出活動自体は継続。また、取引量も 2014 年の OPEC の減産決定以来の最高値を記録した。ウィーンの JBC エネルギーのアナリストは、実際のリスクは路上の騒乱ではなく米国の対イラン制裁にあると分析。(1月5日付 HDN 紙 11 面)

#### ●ノルウェー企業、トルコの電力市場から部分的に撤退

8日、ノルウェーの電力公益事業会社「スタットクラフト」社は、電力市場の流動性の減少と見通しの不透明さを理由に、トルコにおける電力取引を減らしていく予定であると発表した。同社は昨年、2016 年から PKK グリラとトルコ治安部隊の衝突の激化により建設が滞っている水力発電所(当館注:南東部スィルト県のチェティン水力発電所)をトルコのリマク社に売却。一方で、固定価格買い取り制度の対象であるチャクト・カルグ水力発電所は、将来的にも保持する予定。(1月10日付 HDN 紙 10 面)



(写真は、カルグ水力発電所。スタットクラフト社ウェブサイトより)

### 【運輸関連】

#### ●トルコの空港利用者、2017年は前年比11%増加

6日、運輸海事通信省は、2017年のトルコの航空利用者数は 1億9,300 万人で、対前年比 11%増加したと発表。また、国際線

利用者は同 17%増となる 8,350 万人に達した。年間発着数は 150 万便で同 3.2%増、総貨物量は同 10%増で 340 万トンだった。なおトルコの利用者数の最も多い空港はアタテュルク空港とサビハ・ギョクチェン空港で、合計 9,510 万人が利用した。(1月8日付 HDN 紙 10 面)

#### ●2017年のターキッシュ・エアラインズ利用者、6900万人に迫る

ターキッシュ・エアラインズの発表によると、2017年の総旅客数は 6,860 万人で、対前年比 9.3%増だった。また、座席利用率は通年で対前年比 4.7%増の 79.1%、昨年 12 月では史上最高値となる 79.7%を記録。運航キロ当たりの収入も通年で同 7.9%増の 1,369 億ドルに上昇した。(1月10日付 HDN 紙 10 面)

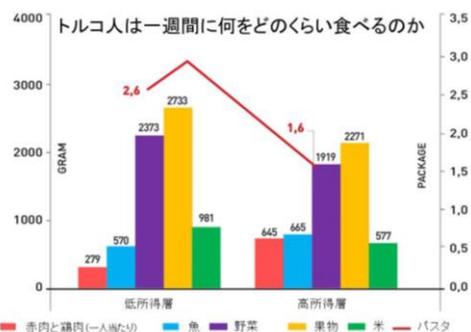
#### ●トルコのロジスティクス産業、過去10年で19億ドルの海外からの投資

9日、エルデネル国際物流ロジスティクスサービス業者協会(UTIKAD)会長は、過去 10 年間でトルコのロジスティクス産業には 19 億米ドルの海外投資が行われ、貨物取扱容量が 4 倍に増加したと発表した。同産業がトルコの GDP に占める割合は 14%で、1,500 億ドル規模となる。また、同会長は、第三空港の開港後、トルコは貨物流通の中心となることができると述べた。(1月11日付 HDN 紙 10 面)

### 【食品・農業】

#### ●トルコ人は肉が一番好き、しかし低所得世帯は手が届かず

8日に発表されたトルコ人の食習慣に関する調査結果によると、トルコ人は食べ物の中で特に牛や羊などの赤肉を最も好むが、肉の消費は低所得層において非常に低いレベルに留まっていることが明らかになった。肉に次いで野菜料理、白豆のシチューが好まれている。一方で、最もよく調理される料理はスープ、パスタ、米料理であった。この調査は昨年 12 月に 31 県で 2,713 人と実施された面接に基づいてまとめられた。(1月10日付 HDN 紙 10 面)



(グラフは、1月9日付 HDN 紙インターネット版を元に、当館で編集)

#### ●トルコは小麦粉製品輸出で世界第一位

10日、ウルソイ・トルコ小麦業界連盟(TUSAF)議長は、トルコは小麦粉製品の輸出において過去 5 年世界第一位であり、2017年は 11 億米ドルに相当する 360 万トンで世界の小麦粉製品の輸出の三分の一を占めていたと発表。トルコの小麦粉製品輸出の 70%は、イラク、スーダン、シリア、アンゴラ、ベニン及びソマリア等に向けたものであるが、過去 10 年間、米国、中国、日本及びロシアを含む世界 160 か国に輸出。トルコの年間小麦生産は 2,100 万トンで、消費は 1,900 万トン。余剰分を輸出しているが、小麦粉製品の輸出において世界首位の座を守るには、小麦を輸入する必要があると同議長は述べた。(1月11日付 HDN 紙 11 面)

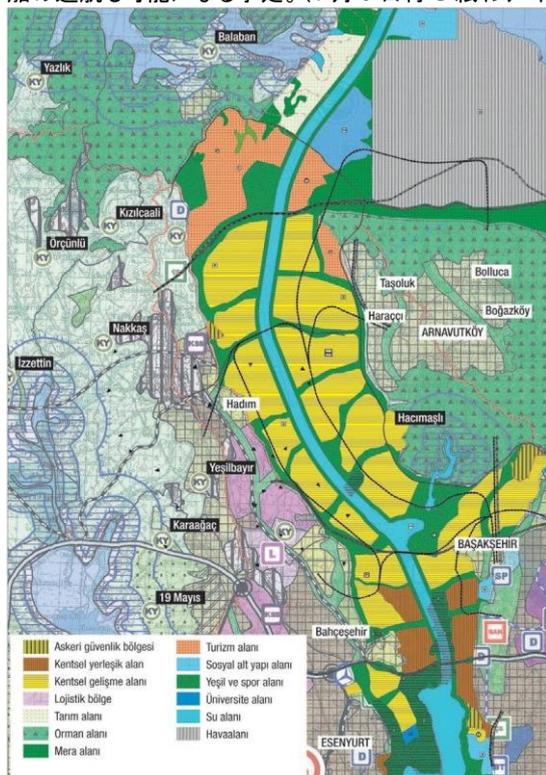


(写真は、1月11日付 HDN 紙インターネット版より)

【イスタンブール都市計画】

●「カナル・イスタンブール」の全容が明らかに

9日付のサバフ紙に、黒海とマルマラ海を繋ぐ「カナル・イスタンブール」計画の詳細が発表された。アヴジュラル区、クチュクチェックメジェ区、バシヤクシェヒル区及びアルナヴットキョイ区の境を通過し、全長45.2km。総工費は650億トルコリラ。また運河の掘削により15億立方メートル、海底から1.15億立方メートルの土砂の処理が必要になると推定されている。黒海とマルマラ海両沿岸には物流用港湾が建設される予定。運河で分断される両岸は、6つの橋梁により鉄道と道路で接続される。運河は水平式で建設され、350-DTW(載貨重量トン数)級の船舶の運航も可能になる予定。(1月9日付 S 紙インターネット版)



(図は、1月9日付 S 紙インターネット版より)

治安

【ISIL 関係】

●2017年中、治安当局がイスタンブールで ISIL 関連容疑者 1,337 名を拘束

アナトリア通信が集約したデータによると、2017年中、トルコ国内において、ISIL 関連容疑で4,755名が拘束され、うち739名が逮捕された。イスタンブールでは、1,337名が拘束され、うち1,141名が外国人であった。(1月4日付 HDN 紙インターネット版)

●警察がイスタンブール等で ISIL 容疑者 26 名を拘束

3日、警察は、昨年12月28日にイスタンブール、アダナ、イズミル、キリス県で実施した対テロオペレーションにより、ISIL 容疑者26名を拘束し、爆発物、自爆ベスト、スコープ狙撃用ライフル等を押収したと発表した。(1月4日付 S 紙インターネット版)



(写真は、1月4日付 HDN 紙インターネット版より)

【PKK 関係】

●昨年12月中、治安当局が PKK 戦闘員 120 名以上を無力化

昨年12月中、治安当局は、PKK 戦闘員120名以上を無力化し、PKK 関連容疑者163名を逮捕した。PKK の攻撃によりトルコ軍兵士3名と民間人1名が死亡した。治安部隊は、トルコ東部で実施したオペレーションにより複数のシェルター、洞窟及び倉庫を破壊した。(1月2日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月2日付 HDN 紙インターネット版より)

●警察がイスタンブールで PKK 関連容疑者 43 名を拘束

10日、警察は、イスタンブール市内7箇所において対テロオペレーションを実施し、PKK 関連容疑者43名を拘束し、PKK に関連するデジタル資料等を押収した。(1月11日付 S 紙インターネット版)

【FETO 関係】

●2017年中、治安機関が FETO 関連容疑者 4 万 8,305 名を逮捕

9日、ソイル内相は、「2017年中にFETO 関連容疑者4万8,305名を逮捕した。拘束者は逮捕者の3倍以上に上るが、それでも全容を明らかにするためには十分ではない。」と述べた。(1月10日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1月10日付 HDN 紙インターネット版より)

**【その他】****●2017 年中、トルコとギリシャ・ブルガリア国境で不法移民 2 万 14 名を拘束**

軍の発表によると、2017 年中、トルコとギリシャ・ブルガリア国境において不法移民 2 万 14 名が拘束された。同国境では、過去 6 年間に 11 万 6,936 名が拘束されている。(1 月 11 日付 HT 紙 14 面)

**●沿岸警備隊がイズミル県において不法移民 178 名を拘束**

5 日、沿岸警備隊は、イズミル県沿岸部において、欧州へ向かっていたボートを停船し、シリア人及びパキスタン人を含む不法移民 121 名を拘束した。また、同県チェシメ区においてもシリア人不法移民 57 名が検挙され移民管理局へ移管された。(1 月 5 日付 HDN 紙インターネット版)

**●トルコ・イラン国境に 144 キロの壁を建設中**

9 日、トルコ住宅開発局 (TOKI) は、トルコとイランの国境に建設中の壁について、144 キロのうち 80 キロが完成したと発表した。壁の建設は春までに完了する予定であり、密輸と PKK 戦闘員の流入阻止を目的としている。また、シリア国境沿いに建設中の壁については、98 パーセントが完成している。(1 月 10 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1 月 10 日付 HDN インターネット版より)

**軍事****●本年中に軍事職員 9,753 名の新規採用を計画**

8 日、ジャニクリ国防相は、FETO の問題により免職された軍事職員を補てんするため、緊急措置として 9,753 名を採用すると述べた。今年中に幹部 3,761 名、下士官 5,992 名の採用が期待されている。同国防相によると、2016 年にクーデター未遂事件が発生するまで、軍の採用制度は FETO に操作されており、クーデター未遂事件以降、軍事職員約 8,000 名が免職されている。(1 月 9 日付 HDN 紙インターネット版)



(写真は、1 月 9 日付 HDN 紙インターネット版より)

**●トルコ外相がイドリブにおけるシリア軍の軍事オペレーションを批判**

9 日、チャヴシュオール外相は、駐トルコ・ロシア大使及び同イラン大使を招致し、シリア政府にイドリブで軍事オペレーションを中止させるための圧力をかけるように求め、シリア軍がイドリブで反政府グループを攻撃することは、トルコ、ロシア、イランによる緊張緩和地帯創設の合意に反するものであると主張した。イドリブの一部地域は、アル・カーイダを前身とす

るハヤート・タフリール・アルシャーム (ヌスラ戦線) が支配している。(1 月 11 日付 HDN 紙 1、9 面)

**社会****●トルコの著名な俳優亡くなる**

5 日、トルコの著名な俳優であるミュニル・オズクル氏が 93 歳で亡くなった。200 を超える映画に出演し、多くのトルコ人には代表作で演じた「マフムット先生」の名で親しまれた。(1 月 5 日付 HT 紙インターネット版)



(写真は、1 月 5 日付 HT 紙インターネット版より)

**●メトロバス、改善されない問題が山積み**

1 日の利用客数が百万人に上るメトロバスではトラブルが後を絶たない。具体的な例では、44 ある停留場のうち 9 の停留所ではエレベーターが未設置、または、エレベーターが設置されている停留所でもそのほとんどが故障したままとなっている。停留所には常に人が溢れかえり危険な状態だ。利用者からの相次ぐ苦情はメトロバス運営組織の代表交代にまで発展したが、運営側は利用者数が当初の計画の 3 倍であるという状況に改善策を打ち出せないジレンマに陥っている。(1 月 8 日付 HT 紙 19 面他)

**●運送会社用地で取り壊し始まる**

ゼイティンブルヌ区に集中する 254 の運送会社事務所が、用地売却に伴う退去期間終了にあわせ取り壊された。跡地には鉄くず、プラスチックなど大量の廃棄物が残され、廃品回収業者たちは換金できそうな廃材に目を輝かせている。(1 月 8 日付 HT 紙 19 面他)



(写真は、1 月 8 日付 SOZCU 紙インターネット版より)

**●水不足深刻化**

例年に比べ降水量が極端に少ない今年、トルコ全土で水不足が深刻化している。9 日現在、イスタンブールの貯水率は 65 パーセント、イズミルでは 34 パーセント、アンカラでは 20 パーセントとなっている。内陸部でも状況は同様で、今後 2 月から 3 月にかけて、まとまった降水が無い場合、農作物に大きな影響が出る懸念されている。(1 月 9 日付 HT 紙 1 面他)

**●バジャクシェヒル区に新たな卸売市場建設**

バジャクシェヒル区に 2019 年 4 月に完成する新市場に、エユツプスルタン区ラーミ地区の食料品卸売り市場も移転することになった。新市場は敷地 32 万平方メートルに 2,000 を超える店舗に加え、銀行やレストラン、カフェなども含む大規模な施設となる予定。(1 月 9 日付 HT 紙 13 面他)



(写真は、1月9日付 HT 紙インターネット版より)

### ●雪不足、ウィンター・スポーツに影響

降雪が少ない今季、スキー場は深刻な打撃を被っている。コジャエリ県カルテペ・スキー場では昨年 250 センチの積雪があったのに対して、今年は 18 センチ。ゲレンデは閉鎖に追い込まれ、ホテルも空室が多い状況。ブルサ県ウルダー・スキー場はからうじて営業しているが、積雪は昨年の 3 分の1となっており、観光業界は不安を抱えている。(1月10日付 HT 紙 12 面他)



(写真は、1月10日付 HT 紙インターネット版より)

### ●ベシクタシュ・プリンス諸島間のフェリー議会で再検討

イスタンブール市は、ベシクタシュとプリンス諸島を結ぶフェリーの運行について、利用客が少なく採算が取れないとの理由から 1 月から 6 月までの期間、運休することにしたが、利用客から多数の苦情が寄せられているため、現在対応をイスタンブール市議会で再検討している。再開の可能性は高いと予想されるものの、最終決定はウイサル市長に委ねられている。(1月11日付 HT 紙 20 面他)

### ●海峡を通過した船舶数約 8 万 7 千隻

運輸海事通信省の発表によれば、昨年 1 年間にボスフォラス海峡を通過した船舶数は 4 万 2,978 隻、チャナッカレのダーダネルス海峡を通過した船舶数は 4 万 4,615 隻だった。このうち 1 万 3,732 隻が LPG ガス、原油などを積んだタンカーとなっている。なお、ボスフォラス海峡では 22 件の船舶事故が発生し、133 隻が航行不能となり沿岸警備隊の救助を受けた。(1月11日付 HT 紙 20 面他)

### ●ウスキュダルで大規模な排水工事進む

降雨時に度々排水されない雨水と海水が合流する光景が繰り返されるウスキュダル区の沿岸部で、排水を海に流すための新規の配水管理設工事がイスタンブール市によって進められている。工事は今夏までに完了する予定。(1月11日付 HT 紙 21 面他)



(写真は、1月11日付 HT 紙インターネット版より)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

**機関・団体等**

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高層機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公社
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業界・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

**引用メディアの略称**

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Ihlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	IP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index\_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。  
[istanbulweekly@it.mofa.go.jp](mailto:istanbulweekly@it.mofa.go.jp)

**【被害】**

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.1.11 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- [第27回イスタンブール日本弁論大会\(12/28\)](#)
- [イズミル「私の目から見た日本・日本語コンテスト」参加者募集のお知らせ\(12/25\)](#)
- [「海外安全対策情報\(2017年10月～12月\)」\(01/10\)](#)
- [トルコ危険情報の改訂\(12/26\)](#)